

在禪洞だより

■ 岐阜環境医学研究所・座禪洞診療所
 ● 呼吸器疾患・禁煙治療・漢方相談
 診察日：月曜・木曜・金曜
 受付時間：9:00~12:00
 〒502-0017 岐阜市長良雄総878-16
 IP Tel:058-295-9545
 FAX:058-296-3903
 E-mail:zazendoh@ccn.aitai.ne.jp
 http://zazendoh.town-web.net/
 153号 2016.12.1.
 毎月1回発行 座禪洞診療所 松井英介



Kaketsuke-keigo

松井英介

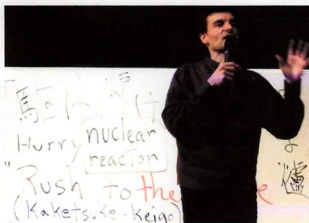
アーサー・ピナード (Arthur Binard) さんが来るというので、神戸町に駆けつけました。

1967年米シシガン州生まれ。ニューヨーク州コルゲート大学英米文学部で卒業論文を書くとき、漢字・ひらがな・カタカナを混ぜて使う日本語に興味をもち来日。詩人・俳人・随筆家・翻訳家。日本で出会った妻・木坂涼さんも詩人。広島在住。

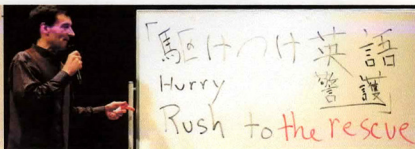
どの国のトップよりも早くトランプ・タワーに駆けつけたのが自慢の安倍首相。その語り口を鋭い言葉で腑分け。会場を沸かせながら、言葉の大切さを語りかけました。

その一端をご紹介します。まずは、国際オリンピック委員会・ブエノスアイレスでの安倍特訓英語演説。under control、福島第一原発事故がコントロールされているという報道が拡がりました。でもよく考えると、

“I can assure you the situation is under control”、すなわち日本国民は文句を言わないので、国民のsituation=状況はよくコントロールされている。



I can assure you
the situation is
under control



もう一つ、「駆けつけ警護」。英語で何と言いますか？ドンパチ撃ち合っているところへ、「Rush to Guard」？アメリカ人に見せると笑ってしまいます。“Rush to the rescue”なら、まだわかる。だったら日本語もそうしたらよい。ところが防衛省のホームページには、「警護」に相当する英語がなくて、ローマ字で (kaketsuke-keigo) となっています。言葉を大切にしています。

1953年のアイゼンハワー大統領国連演説“Atoms for Peace”。日本では、「原子力(核)の平和利用」で原発を推進。「原子爐(炉)」。「爐」という言葉は、鉄鋼業最盛期で力強く響いた。年寄りには「爐(いりり)」という懐かしいイメージ。

TPPが通れば、英語支配が強まり、日本語は消滅していくでしょう。

著書のサイン会には長い列。アーサーさんは、一人ひとりとゆっくり言葉を交わしておられました。